

○指導の実際

◆授業の板書



道徳的価値に関わる児童の考え

児童が発表した内容



サブのホワイトボードには、資料の内容が分かるように、登場人物の声を吹き出しで示した。

◆児童の考えの変容

	中心発問	終末
児童①	お母さんにおこられるかな。やらなきゃよかった。どうしてやっちゃったんだろう。	この学習をして、悪いと分かっているのに、友だちにつられてやってしまいそうになっても、やる前に、ちゃんと考えて行動しようと思いました。
児童②	最初からこんなことをしなかったら、かさがこわれなかっただろうな。	自分でよく考えて行動すると自分がこうかいしないから、自分で後のことを考えて行動しようと思いました。



◆成果と課題

- 問題解決的な学習を取り入れることで、自分の生活や行動を見直して考えさせることができた。
- 「よく考え行動する」とはどういうことなのかという、問題解決的な学習で貫かれていたのは良かった。
- 友だちの意見や考えにも関心が高く、「なるほど」などのつぶやきが出ていた。児童が主体的に授業に参加している姿が見られた。
- 終末で、児童は後悔した経験を出していたが、問題解決的な学習として、どう変わったのかと、さらに切り返して聞くとよい。
- 児童の反応やつぶやきが出ているので、もっと児童同士が練り合う授業になるよう、教師がそれらを上手く取り上げコーディネートしていく等、指導方法を工夫していく。